



# 親あるうちに備えよう もしも・・・のために「もし活」を

②親あるうちに「もし活」を  
大会の第3分科会「暮らす」の中で、上級終活カウンセラー・防災士で、「もし活」専門家として活動する豊里幸さん（熊本県荒尾市在住・ハッピーホープ代表）が発表されました。

3年前の熊本大震災での実際の災害現場における体験や障害のある弟を持つ自らの体験を交えて、「もしもに備える」ことの重要性、特に障害のある子を持つ親（保護者）の場合は「親なきあと」ではなく、「親あるうちに」準備する事の

①育成会全国熊本大会より  
「もし活」をご存知ですか？  
人は誰でも病気、災害、事故等々、何時が起るかわかりません。特に障害のある人にとっては何か起こった場合、健康な人よりもその被る苦労はより大きなものがあります。そのような「もしもに備える活動」が「もし活」です。先日行われた全国熊本大会でも発表がありました。



ワークセンター愛の園  
保護者会会員  
保良 栄長



♪ 県育成会のHPにもカフィーで掲載中♪

## 手をつなぐ・うちな〜

知的な障がいのある人と共に

発行所  
沖縄県手をつなぐ育成会  
那覇市首里石嶺町4-373-1  
沖縄県総合福祉センター内  
TEL 098 - 882 -5727  
FAX 098 - 882 -5720  
E-mail:oki-iku@woody.ocn.ne.jp  
HP : http://www.oki-iku.com/  
発行人 理事長 田中 寛  
定価 50円 (会費を含む)



第6回全国育成会連合会全国熊本大会（九州大会併催）

この「親心の記録」は、障害のある人について、その人をよく知る人やその連絡先、成育歴、障害の特徴やリスクへの対応、かかりつけの医療機関や相談施設、親として支援する人に伝えたいこと等の記録です。

講師の豊里氏は「もし活」の一環として「親心の記録」の配布普及活動も行っており、沖縄県育成会でも配布に協力するので、希望される方はお問い合わせ下さい。

なお、この第3分科会「暮らす」の基調講演、事例報告については、大会報告書等も是非参照されて下さい。

③「親心の記録」をつくらう  
そのような重要なことを伝える為に、自らのエンディングノートを準備する事も必要です。又、障害のある人については、全国的なボランティアグループ「日本相続知財センター」という法人が作成・配布している「親心の記録」が大きく役立つことでしょうか。

重要性が強調されました。  
障害のある人の場合、その親（保護者）が倒れたり、亡くなった時や、災害時に誰が面倒を見るのか、財産や金銭管理等を含め、兄弟姉妹、施設やグループホーム、成年後見制度の活用等について、話し合いや調査相談等を準備しておくことが必要です。又、地域で生活していく為には、周囲の人たちの理解、支援、協力も必要で、地域との関わりも大切であり

【目次】

- P1 全国熊本大会参加者感想文①（寄稿文）
- P2 全国熊本大会参加者感想文②
- P3 私の声を届けます・理事通信
- P4 県育成会予定・ゆんたく広場・他





# 「第6回全国育成会連合会全国熊本大会」に参加しました♪



## 全国熊本大会に

参加して

あけもどろ学園保護者会

会長 大城 奈保

人権を脅かす最たるものは、不条理な死でしょう。

障がい者福祉施設で、元職員により多くの犠牲者が出ました。

『障がい』を持つ人は、周りの人の支えに頼る部分は必然多くなりますが、それでも本人の負担や努力の方が遥かに多く、大きいのです。負担面に深く同情し、努力する姿に崇高さを感じ敬意を持つ。

生活の場に共にいながら元職員は『障がい』を持つ人に何を学んでいたのか!?

今回の人権分科会で、長年の疑問に納得する答えがありました。当時、救急隊員は、ベッドに幾人もの被害者が拘束されている光景に驚いたそうです。既に虐待はあったのです。

高く掲げた理念を職員間で共有し、事が起きると理念に立ち帰る。虐待を減らすために、どの施設もそうあってほしいと願います。



## 全国熊本大会に

参加して

北部心身障がい児者親の会

(宜野座村社協) 宮城 清人

熊本県では、震災時の障がい児の一般避難所への避難が困難であったことを教訓に熊本市内の特別支援学校7校と「子ども福祉避難所」として協定を締結。在校生と家族等を受け入れ対象とする取り組みを開始しています。

沖縄県においても子ども福祉避難所モデルの設置を進めつつ、その知識やノウハウを活かして特別支援学校が無い地域でも安心して一般避難所へ避難できるように取り組みが望まれます。

また、「親亡き後」の問題では、生活の拠点を何所に置くのか、本人の意思決定や親の想いは?など、残された家族も自分の人生を自由に生きたい、といった踏み込んだ内容にまで発展しました。極端に5年後のことを話すと家族全体のライフプランが見えてくるとアドバイスがありました。

初めての参加でしたが、県内参加者の皆様とワンチームで学び多き大会となりました。



## 全国熊本大会に

参加し

ワークプラザ南風保護者会

名幸 健悟

今回初めて参加する事になり、内容もわからないままの参加でしたが、話を聞いて、今後親が亡くなったあと、子供がどうやって生活するかと言う事を考えさせられました。

成年後見制度がある事を知り、親が亡くなった後、まわりの身内に負担にならないように今から成年後見制度のしくみを学ばないと思いました。

障害者の書いた絵を洋服にしてブランドにしたり、商品化したりする発想にすごいと思いました。

もっと柔軟に考えないといけないと思いました。次回ももっと話を聞きたいと思いました。



## 全国熊本大会の

本人部会で発表して

おきなわ工房

真栄喜 康弘

私はおきなわ工房の真栄喜康弘です。

今回僕は、「第6回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会熊本大会本人大会の第2分科会」に参加しました。

本人部会で「僕の生活・夢」というテーマで発表しました。

沖縄県代表として全国みんなの前で発表をしました。

最後には一曲大好きなビギンの「おじー自慢のオリオンビール」を歌いました。

たくさんの方の前で歌ったので少し緊張したけど、みんなからおおきな拍手をもらったので嬉しかったです。

発表のあとはグループに分かれてみんなと色々なテーマに沿って意見交換もしましたもいろんな人の考え方や意見があったので勉強になりました。

今回発表できて良かったです。





### 県育成会行事報告1月

- ☆1月14日(火) 県総合福祉センター  
第3回組織・財政委員会
- ☆1月25日(土) 静岡県  
全国育成会事業所協議会全国大会
- ☆1月28日(火) 沖縄市  
ゆうあい調整会議(コザ)

### 県育成会行事予定2月・3月

- ☆2月6日(木) 県総合運動公園  
令和2年度施設調整会議
- ☆2月8日(土) 県総合福祉センター  
第53回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会

**ありがとう**

**令和元年度賛助会員  
敬称略**

- 個人 幸地 豊  
砂川 真佐枝  
小笠原 文子

※未掲載の方は第184号にてご紹介致します。

**書籍販売のご案内**

## 予約受付中



価格：税込1,300円  
(郵送料振込手数料は実費となります)

『手をつなぐ・うちな〜』編集者  
理事長：田中寛  
事務局：高原奈々 東江早苗

### 回中理事長のゆんたく広場

温暖地である沖縄の1月に咲く桜に驚く人もいますが、季節外れの菜の花やヒマワリが咲く今年の異常な温暖化には言葉も失います。豪雪地方の雪不足は、雪下ろしなどの生活への支障を考えれば喜ぶもある反面、雪を生業としているスキー場などでは死活問題ともいえます。

そのような中で、突然起こった新型コロナウイルス問題は、世界に脅威を与え続けています。

地球温暖化の原因の一つとも言われている環境問題への世界的な取り組みも、自己中心的な国の政策により今後の見通しも立ちそうもありません。

「想定」という言葉も、既に死語となりつつあるのかもしれないね。

**『手をつなぐ』配布募集**

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。

お申込みご希望の方は、県育成会まで一度ご連絡下さい。

\*年間購読料 3,900円



## 第53回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会のご案内

標記大会が、2月8日(土) 沖縄県総合福祉センターゆいホールにて行われます。シンポジウム(親の会)・語り場(本人の会)の内容で行われ、表彰式典、本人による意見発表も行われます。中央情勢や全国の動き等も、行政説明や基調報告の中でお伝え致します。多くの皆様のご参加お待ちしております!

- 12:00~12:40 受付
- 12:40~13:10 あいさつ・感謝及び表彰・祝辞
- 13:10~13:40 行政説明 (沖縄県子ども生活福祉部)
- 13:40~14:20 基調報告「保護者の虐待防止について~障害年金は誰のもの?~」  
(沖縄県手をつなぐ育成会 理事長 田中寛)
- 14:20~14:50 本人の意見発表「テーマ:支援学校卒業後のわたしの生活と将来の夢」
- 15:10~16:30 ●シンポジウム「親亡き後、地域で安心して暮らせるためには? ~教育と福祉と就労、そしてきょうだいとの関わり~」  
♪1:「学校卒業後の進路について」  
♪2:「障がいのある幼児~高齢期までのきょうだいとの関わり」
- 本人の会「仲間との語り場~仲間と一緒に色々な思いを語り合おう~」
- 16:30~16:35 閉会のあいさつ

【申込み先】(公社)沖縄県手をつなぐ育成会(HPにも情報掲載中)

- 那覇市首里石嶺町4-373-1(県総合福祉センター内)
- TEL:098-882-5727 FAX:098-882-5720 ●E-mail:oki-iku@woody.ocn.ne.jp
- 当日の申込も可。 ●参加費用:1人2,500円(障がい者本人・学生1,000円)(弁当無し・資料代込)